

科目名	総合日本語Ⅱ						
科目名(英)	General Japanese Ⅱ						
単位数	12単位	時間数	180時間	担当者	河原田・田中		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、自分の感想や考えが理由とともに詳しく説明できるように なること、異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って適切な表現で情報や意見の交換ができるようになることを目指す。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					対話に必要なコミュニケーション能力を身につけ、その場にあつた内容で述べるることができる	
		○				段落を構成して、適切な表現を適用することができる	
			○			日本語能力試験N3～N2レベルの言語知識で皆との会話に参加することができる	
テキスト・教材 参考図書	松田浩志[監修] / 亀田美保、惟任将彦、安本博司、山田勇人[著] 『テーマ別 中級から学ぶ日本語(三訂版)』研究社KENKYUSHA、2015年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～6	第1課 まなぶ <なぞなぞ> 外国語を学習する過程で体験したことについて意見を交換をしながら、「外国語を学ぶとは」を考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	7～12	第2課 みつける <花の名前> 背景として見過ごしている物事に対して、意識して関心を持つことの大切さを学ぶ。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	13～18	第3課 たべる <ごちそう> 人間の結びつきがどんどん弱くなる現代の「孤」の社会を考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	19～24	第4課 たとえる <猫に小判> 要領良くわかりやすく伝えるために使われることわざや例え、慣用的表現について考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	25～30	第5課 あきれる <満員電車> 異なる文化とどう向き合うか、そこで見たり聞いたりしたことをどう学びにつなげるかを考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	31～36	第6課 つたえる <思いやり> 言葉の伝わり方、伝え方について考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	37～42	第7課 かざる <名刺> 見栄えを大切にすることは日本文化特有のことなのか、「外見と中身」について考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	43～48	第8課 おもいこむ <男の色・女の色> 時代が変わっても気がつきにくい人間の思い込みについて考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	49～54	第9課 まもる <見えない相手> 日常経験するITの身近な問題を取り上げ、社会の変革にどう対処すべきかを考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	55～60	第10課 なる <腕時計> 気づかないうちに時間に追い回されている毎日の生活について考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	61～66	第11課 つながる <タテとヨコ>現代の人間関係をテーマにし、若い世代の「ため口」や間違った敬語、お年寄りに対する軽視、IT機器に頼った表面的な人間関係などについて考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	67～71	第12課 わける <ABOAB>人はなぜ他人をタイプに分けて見ようとするのか、そのことが日常の付き合いにどのような影響を及ぼしているのかを考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	72～77	第13課 おもいだす <屋敷におい>思い出をテーマに、何がどうして思い出として残るのか、思い出が人生においてどんな意味を持つようになるのかを考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	78～82	第14課 みなおす <てるてるぼうず> 学習者ひとりひとりの現在、将来の生活に直接影響のある、自然との付き合い方という問題を考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	83～90	第15課 ふれあう <旅行かばん> 自分の文化を理解しないで、異なる文化は理解できないのではないかというテーマで考える。				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験(筆記)		○	○				50%
宿題・レポート		○	○		○		50%
履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること						

科目名	会話Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Conversation Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	濱田 奈美子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	文→羅列分→段落と固まりで話すことを目標とする。また自分もつ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観・立場が違う相手のことを理解し、日本語での対話力を身につけ、コミュニケーションをとることができる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					既習文型を正しく使い、まとまりで述べるができる	
		○		○		場面・状況を理解し、協調することができる	
				○		場面・状況・対人関係に応じた日本語を使い、コミュニケーションをとることができる	
テキスト・教材 参考図書	・鶴尾能子、石沢弘子 監修『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク、2013年 ・嶋田和子 『できる日本語 初中級 本冊』アルク、2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	みんなの日本語46課:動作の段階・確信				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	2	みんなの日本語47課:伝聞・判断				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	3	みんなの日本語48課:使役				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	4	みんなの日本語49課:尊敬語				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	5	みんなの日本語50課:謙譲語				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	6	できる日本語1課:初めて会った人に自己紹介・問い合わせ				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	7	できる日本語2課:買い物				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	8	できる日本語3課:目標・計画				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	9	できる日本語4課:情報を得る				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	10	できる日本語5課:ハプニング				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	11	できる日本語6課:旅行				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	12	できる日本語7課:日本人の家へ行く				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	13	できる日本語8課:感謝の気持ちを述べる				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	14	できる日本語9課:アルバイトで				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
	15	確認テスト①				授業内で習った文型や表現をしっかりと復習すること(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)授業前に宿題(課題)提出、レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(口述)	○	○		○		50%
	宿題・レポート	○	○		○		50%
履修上の注意	授業では、恥ずかしがらずに積極的に発話してください。						

科目名	聴解Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Listening Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	坂井 由美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日本語の音声の特徴に慣れ、全般的な聴解能力を伸ばすとともに、日本語能力試験N3に合格できるレベルの聴解スキルとストラテジーを身につけ、コミュニケーションをとることができる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日常生活に役立つ、簡単な聞き取りや説明を聞いて、述べるができる	
		○				身近で日常的なN3レベルの会話文を適用することができる	
				○		日常生活で皆と円滑にコミュニケーションをとることができる	
テキスト・教材 参考図書	小原亜紀子 横井和子『耳から覚える日本語能力試験聴解トレーニングN3』アルク、2013年 棚橋 明美 野原 ゆかり 杉山 ますよ(著)『日本語能力試験問題集N3聴解スピードマスター』 ジェイ・リサーチ出版、2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	問題紹介、音声に慣れる				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	2	課題理解①				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	3	課題理解②				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	4	ポイント理解①				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	5	ポイント理解②				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	6	概要理解①				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	7	概要理解②				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	8	小テスト				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	9	発話表現①				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	10	発話表現②				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	11	即時応答①				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	12	即時応答②				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	13	実践問題①				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	14	実践問題②				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
	15	実践問題③				配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	音声教材を使い授業を進めていくので、授業への不参加、居眠りは減点します。						

科目名	読解Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Reading Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河原田 純子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	前後の文脈から未習単語を推測し、段落や接続詞、述部表現などから文章の構成をつかんで内容を理解できるようにすることを目的とする。また、読んだあとで、内容に関する簡単な説明・意見が言えるように指導していく。テキスト以外にも、能力試験の過去問題や新聞、小説などを使い、様々なタイプの読み物が読めるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N3レベルの文章を正確に区別することができる	
	○					授業で扱ったテーマの内容について、自分の体験や考えを論理的に述べるができる	
	○	○		○		あるテーマについての考えを論理的に作文できる	
テキスト・教材 参考図書	田代ひとみ、宮田聖子、荒巻朋子 著『新完全マスター読解 日本語能力試験N3』スリーエーネットワーク、2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	①JLPTの説明②書き言葉に慣れよう③漢語と和語 ④助詞のような働きをする言葉				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	2	①基本的な文を読む練習 ②新完全マスターN3広告文(p58)				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	3	①文の読み方をスピードアップする ②速読の練習/新完マスN3 p18、44、60				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	4	①キーワードから文を推測・答えを選ぶ ②受身・使役・使役受身・授受(誰が誰に?/誰がする?)確認				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	5	①キーワードから文の読み方をスピードアップする ②「問い」にあるキーワードから本文を読む				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	6	①問題によって読み方を変える練習 ②筆者の意見、下線部問題、指示文の読み方				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	7	①JLPT読解のテストタイムの感覚を覚える ②グラフp70~73、実力養成p78~81、p82~85、p100、p120~121				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	8	①JLPT読解のテストタイムの感覚を覚える ②選択肢のキーワードを本文から読み取る				必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)	
	9	N3読解模擬試験 p148~159、p126~129				模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)	
	10	N3読解模擬試験 公式問題集				模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)	
	11	N3読解模擬試験 公式問題集 第2集				模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)	
	12	N3読解模擬試験 ベスト模試 第1回				模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)	
	13	N3読解模擬試験 ベスト模試 第2回				模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)	
	14	N3読解模擬試験 ベスト模試 第3回				模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)	
15	N3読解 確認テスト				授業内で配布されたプリントを全て復習すること(2時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること						

科目名	文字語彙Ⅱ							
科目名(英)	Japanese characters and vocabulary Ⅱ							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	伊東・坂井			
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年							
授業概要	日本語能力試験N3レベルの語彙をトピック・使い方などのグループごとに学び、短い文や語句を効率よく覚えさせる。「聞く・読む・書く話す」の4つの言語運用能力を支える語彙力を伸ばし、読解や聴解問題、日常生活でも役立つ語彙を身につけることができる。							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○		○		前後の文脈から空所に入る語を選ぶことができる		
	○	○		○		出題された語と意味的に近い語を選ぶことができる		
	○	○		○		複数の文の中から語が正しく使われている文を選ぶことができる		
	○	○		○		接頭辞や接尾辞などを入れ、派生語や複合語を作ることができる		
テキスト・教材 参考図書	伊能裕晃, 本田ゆかり, 来栖里美, 前坊香菜子 著『新完全マスター語彙日本語能力試験N3』スリーエーネットワーク、2017年							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1・2	〈第1部〉 1・2課 人間関係1・2				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3・4	3・4・5課 生活1・2・3				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	5・6	実力を試そう(1~5課) 6・7課 体1・2 美容、健康、病気				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	7・8	8・9・10課 趣味と旅行1・2・3 スポーツ、芸術、ファッション、旅行				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	9・10	実力を試そう(6~10課)、11・12課 教育1・2 学校生活				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	11・12	13・14課 仕事1・2 実力を試そう(11~14課)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	13・14	15・16・17課 社会 1・2・3				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	15・16	18・19課 自然1・2 実力を試そう(15~19課)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	17・16	20・21課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	19・20	〈第2部〉 1・2課 和語動詞・漢語動詞				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	21・22	2・3課 形容詞・副詞				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	23・24	4・5課 オノマトペ				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	25・26	6・7課 間違いやすい漢語・言い換え類義				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	27・28	8課 語形成				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	29・30	模擬試験 第1回・第2回				授業内容に係る模擬試験を実施するので、復習しておくこと(2時間)		
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験	◎	○				50%
小テスト		◎	○		◎		50%	
履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること							

科目名	文法Ⅱ							
科目名(英)	Japanese Grammar Ⅱ							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	河原田 純子			
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年							
授業概要	日本語で自分の言いたいことが伝わる文を作ったり、必要な情報を的確に読み取ったりするために、文法知識は欠かせない。この授業では、日常的な話題について書かれた文章や、日常的な場面でのまとまりのある会話に使われる例文を多く使いながら、文法を学んでいく。7月のJLPTN3の合格を目指す。							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○		○		大学進学や就職の際、特に読み書きで求められる文法表現を運用できる。		
	○	○		○		習得した文法を使い、コミュニケーションが取ることができる。		
	○	○		○		N3レベルの習得に必要な知識を身につけることができる。		
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N3 文法』アスク出版、2010年 松浦真理子(監修)、アスク出版 編集部(編集)『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1・2	1:総まとめN3文法 第1週 1日目-3日目 2:総まとめN3文法 第1週 4日目-6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第1週の既習文法の復習のこと		
	3・4	3:総まとめN3文法 第2週 1日目-3日目 4:総まとめN3文法 第2週 4日目-6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第2週の既習文法の復習のこと		
	5・6	5:総まとめN3文法 第3週 1日目-3日目 6:総まとめN3文法 第3週 4日目-6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第3週の既習文法の復習のこと		
	7・8	7:総まとめN3文法 第4週 1日目-3日目 8:総まとめN3文法 第4週 4日目-6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第4週の既習文法の復習のこと		
	9・10	9:総まとめN3文法 第5週 1日目-3日目 10:総まとめN3文法 第5週 4日目-6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第5週の既習文法の復習のこと		
	11・12	11:総まとめN3文法 第6週 1日目-3日目 12:総まとめN3文法 第6週 4日目-6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第6週の既習文法の復習のこと		
	13・14	13:確認テスト(模擬試験) 14:確認テスト(模擬試験FB)				模擬試験の問題をもう一度解いて復習すること		
	15・16	15:総まとめN3文法 第1・2週7日目 16:総まとめN3文法 第3・4週7日目				第1-4週の7日目を解いてくること		
	17・18	17:総まとめN3文法 第5・6週7日目 18:総まとめN3文法 第1週 復習				第5-6週の7日目を解いてくること		
	19・20	19:パワードリル文末表現 20:パワードリル似ている文型・敬語				事前プリントを解いてくること		
	21・22	21:総まとめN3文法 第2週 復習 22:総まとめN3文法 第3週 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく		
	23・24	23:総まとめN3文法 第4週 復習 24:総まとめN3文法 第5週 復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく		
	25・26	25:総まとめN3文法 第6週 復習 26:確認テスト前勉強				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく		
	27・28	27:確認テスト 28:確認テスト				確認テストを実施するので復習しておくこと		
	29・30	29:確認テスト 30:確認テスト				確認テストを実施するので復習しておくこと		
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験	◎	○				50%
		小テスト	◎	◎		◎		50%
履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること							

科目名	プレゼンテーション						
科目名(英)	Japanese Presentation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	渡邊 美加		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	既習語彙や表現を有機的に繋げ、発想力や読解力で培った力をもとに、自分の意見や主張を相手にわかりやすく、説得力を持って伝えるようなスキルを身につけることを目指します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				テーマに沿って思いつくことを挙げる「リストアップ」ができる	
	○	○				テーマとなる単語を中心に自由に関連語句を挙げる「マッピング」ができる	
	○	○				情報の理解と推論・理由付けをスムーズに行うことができる	
		○		○		自分の意見や主張を理由付けしながら表現することができる	
テキスト・教材 参考図書	黒崎典子他 『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』 凡人社 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介「私」について				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	2	インタビュー 日本人の学生に聞いてみたいこと				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	3	スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと①				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	4	スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと②				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	5	ディスカッション (1) 携帯 必要？ 不必要？				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	6	スピーチ(1) 発表				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	7	スピーチ(2) 紹介したい国や町①				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	8	スピーチ(2) 紹介したい国や町②				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	9	ディスカッション (2) 美容整形 賛成！ 反対？				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	10	スピーチ(2) 発表				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	11	ディスカッション (3) 日本人はどうして・・・？				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	12	プレゼンテーマ決め				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	13	プレゼン内容				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	14	最終発表 ①				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
15	最終発表 ②				スピーチを・考える／覚える(1時間)		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)授業時の発表(授業への参加状況・グループワーク時の発言)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○	○				50%
	発表		○		◎		50%
履修上の注意	レポートや宿題は授業前日までに提出して下さい。						

科目名	日本語試験対策A						
科目名(英)	Strategy for paasing JLPT A						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	伊東 佳代		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	能力試験の問題(文字・語彙・文法)を数多く解き、問題の形式に慣れ、N3に合格できるスキルとストラテジーを学び、N3合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N3レベルの漢字で書かれた語の読みができる	
	○	○				出題語が文の中でどのように使われるのかを判断することができる	
	○	○				文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる	
	○	○				文章の流れに合った文かどうかを判断することができる	
			○			試験に関して自己管理(時間配分・スケジュールリング)ができる	
テキスト・教材 参考図書	日本語能力試験問題研究会 著『日本語能力試験 直前対策N3文字・語彙・文法』国書刊行会 2012						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1回 教科書説明／解き方／宿題の取り組み方				第2回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	2	第1・2回 説明FB・要点整理				第3・4回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	3	第3・4回 説明FB・要点整理				第5・6回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	4	第5・6回 説明FB・要点整理				第7・8回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	5	第7・8回 説明FB・要点整理				第9・10回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	6	第9・10回 説明FB・要点整理				第11・12回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	7	第11・12回 説明FB・要点整理				第13・14回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	8	第13・14回 説明FB・要点整理				第15回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	9	第15回 説明FB・要点整理				第1-15回までの間違えた問題を復習すること(2時間)	
	10	総復習(確認テスト)				確認テストの予習をしてこ	
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎		◎		50%
	小テスト		◎		◎		50%
履修上の注意	宿題を必ずすること。						

科目名	総合日本語Ⅱ							
科目名(英)	General Japanese II							
単位数	12単位	時間数	180時間	担当者	金子・小川			
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年							
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習経験がある学生を対象とする。初中級(N4)レベルの文法・語彙・聴解・会話表現を総合的に学習し、実際に日常生活で使えるようになることを目指す。							
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:			
					実技:			
					※ 主たる方法:○	その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他			
	○	○			初中級文法を使って、自分の言いたいことが言える。			
	○				初中級語彙を覚えて、適切な場面で正しいことばを選択できる。			
	○	○			初中級会話表現を適切な場面で正しく応用できる。			
テキスト・教材 参考図書	・鶴尾能子、石沢弘子 監修『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク 2013年 副教材 文型練習帳 / 翻訳・文法解説 / 標準問題集 ・平井悦子、三輪さち子 著『日本語の文型と表現55 中級へ行く 第2版』スリーエーネットワーク 2016年							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学習指示			
	1	自己紹介 みんなの日本語初級Ⅱ授業の進め方確認 26～33課復習 復習H FB 文型、語彙確認			26～33課まとめテストの勉強			
	2	自己紹介 26～33課 まとめテスト			34課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	3～4	34課 何かするときの基準や模範を表すことができる。2つの前後関係が言える。動作をどのような状態にするか説明できる。			35課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	5～7	35課 あることが実現するのに要する条件が言える。ある条件の中での判断を言ったり、アドバイスや指示を求めることができる。			36課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	8～10	36課 到達目標や努力目標が言える。人の能力や物事の状況が変わったことが言える。			37課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	11～13	37課 人から受けた行為や迷惑に感じた体験を身表現を使い、話す人の視点から話せる。状況や事象を身表現を使って説明できる。			38課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	14～16	38課 感想、評価、好き嫌い、上手下手など言える。しなければならぬことを忘れたと言え、情報を知っているかどうか聞ける。			39課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	17～19	39課 あることが原因で、その結果である感情や事象が生まれたことを説明することができる。丁寧に理由を言ったり、弁解したり、事実を説明できる。			40課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	20～21	40課 疑問文を文の中に入れて、感想、判断が言える。やってみようと思うことが言える。			41課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	22～24	41課 上の人、下の人、親しい人、親しくない人の関係を考えて、「あげる・くれる・もらう」表現を使うことができる。丁寧に頼める。			42課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	25～27	42課 目的や目的を達成するためにすることが言える。物の使い方、評価が言える。何かをするときに必要な時間、経費(お金)が言える。			34課～42課 復習I、復習J(1時間)			
	27	34～42課復習① 復習I、復習J FB 練習C程度の会話練習			34課～42課 復習 副詞・接続詞・会話表現のまとめ(1時間)			
	28	34～42課復習② L41 L42 復習、副詞・接続詞・会話表現のまとめ			34課～42課 まとめテストの勉強(1時間)			
	29	34～42課 まとめテスト			分からなかった箇所の復習(0.5時間)			
	30～31	AFTC日本人学生との交流			43課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	32～33	43課 物を見て、様態や予想が言える。目的を終えて、元の場所に戻ることを伝えられる。			44課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	34～35	44課 程度が度を越し、よくない状態になったことが言える。物を使う時の難しさを言って、評価が言える。			45課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	36～37	45課 ある事態を想定して、どうしたらいいか言える。思っていたのと違う結果に、話す人の意外な感しや不満の気持ちが言える。			46課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	38～39	46課 動作の段階を言ったり、物事の状況を説明できる。終わってからあまり時間が経っていない感じが言える。話す人が確信していることが言える。			模擬試験の勉強(2時間)			
	40	JLPT模擬試験			47課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	41	46課② 動作の段階を言ったり、物事の状況を説明できる。終わってからあまり時間が経っていない感じが言える。話す人が確信していることが言える。			47課 新しい言葉、文法復習(1時間)			
	42～43	47課 他からもらった情報をそのまま伝えることができる。自分の五官(目・耳・鼻・舌・皮膚)で感じた状況から判断して言える。			48課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	44～46	48課 他人(目下の人)への行為を強制したり、許可・容認を表すことができる。丁寧に許可を求めることができる。			49課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	47～49	49課 「上下」「ウチ・ソト」の尊敬語を理解し、使うことができる。			50課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	50～52	50課 「上下」「ウチ・ソト」の敬語を理解し、謙讓語を使うことができる。			43～50課 復習K、L(2時間)			
	53	43～50課復習① 復習K、L			副詞・接続詞・会話表現のまとめⅡ 43～50課 まとめテストの勉強(1時間)			
	54	43～50課復習② 副詞・接続詞・会話表現のまとめⅡ 43～50課 まとめテスト			分からなかった箇所の復習(0.5時間)			
	55～56	中級へ行く 1課			1課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	57～58	中級へ行く 2課			3課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	59～60	中級へ行く 3課			1～3課の復習(1時間)			
	61	中級へ行く 1課～3課 復習			4課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	62～63	中級へ行く 4課			5課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	64～65	中級へ行く 5課			6課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	66～67	中級へ行く 6課			4課～6課の復習(1時間)			
	68	中級へ行く 4課～6課 復習			7課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	69～70	中級へ行く 7課			8課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	71～72	中級へ行く 8課			9課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	73～74	中級へ行く 9課			10課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	75～76	中級へ行く 10課			7～10課の復習(1時間)			
	77	中級へ行く 7課～10課 復習			1課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	78～82	中級から学ぶ1課			2課 新しい言葉、文法予習(1時間)			
	83～86	中級から学ぶ2課			学習項目の復習(1時間)			
	87	総復習			学習項目の復習(1時間)			
	88～90	日本文化体験 バスハイク						
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%	
	履修上の注意	言葉の予習、授業の復習を必ずすること。						

科目名	会話Ⅱ						
科目名(英)	ConversationⅡ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井脇 千枝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日常生活の身近な場面で、自分の言いたいことを伝えられるようになることが目標である。授業での活動を通して「総合日本語」の授業で学んだ文字語彙や文法の運用能力を高め、多様な状況や場面に対応できるコミュニケーション力の習得を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				身の周りの事象について描写、説明できる。	
	○	○				状況説明や情報提示をしたうえで、要求の伝達ができる。	
	○	○		○		他者とのコミュニケーションがリードできる。(スタート・維持・終了)	
	○	○				日常生活で用いられるカタカナ語彙を理解し、運用できる。	
テキスト・教材 参考図書	・鶴尾能子、石沢弘子 監修『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク 2013年 副教材『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』(翻訳・文法解説・会話DVD)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション・自己紹介 「会話を始める」(みんなの日本語Ⅱ 26~28課の復習)				29課、30課会話の言葉を予習しておくこと(0.5時間) 課題を発表する準備をしておくこと(0.5時間)	
	2	「所有物・内容物の描写」(みんなの日本語Ⅱ 29、30課の復習)				31課、32課会話の言葉を予習しておくこと(0.5時間) 課題を発表する準備をしておくこと(0.5時間)	
	3	「助言や提案をする」(みんなの日本語Ⅱ 31、32課の復習)				復習と予習(33課、34課会話の言葉)(0.5時間) 課題をしておくこと(0.5時間)	
	4	日本語能力試験模擬試験					
	5	「説明する」(みんなの日本語Ⅱ 33、34課の復習)				復習と予習(35課、36課会話の言葉)(0.5時間) 課題をしておくこと(0.5時間)	
	6	「勧める」(みんなの日本語Ⅱ 35、36課)				復習と予習(37課会話の言葉)(0.5時間) 小テストのための勉強、課題をしておくこと(0.5時間)	
	7	小テスト① 「案内する」(みんなの日本語Ⅱ 37課)				復習と予習(38課、39課会話の言葉)(0.5時間) 課題を発表する準備をしておくこと(0.5時間)	
	8	「感想を述べる」(みんなの日本語Ⅱ 38、39課)				復習と予習(40課会話の言葉)(0.5時間) 課題を発表する準備をしておくこと(0.5時間)	
	9	「不安を述べる」(みんなの日本語Ⅱ 40課)				復習と予習(41課、49課会話の言葉)(0.5時間) 49課会話文を予習しておくこと(0.5時間)	
	10	「あいさつする」(みんなの日本語Ⅱ 41、49、50課)				復習と予習(42課、43課会話の言葉)(0.5時間) 小テストのための勉強をしておくこと(0.5時間)	
	11	小テスト② 「機能を述べる」(みんなの日本語42、43課)				復習と予習(44課、45課会話の言葉)(0.5時間) 課題をしておくこと(0.5時間)	
	12	「共感する(応答)」(みんなの日本語44、45課)				復習と予習(46課、47課会話の言葉)(0.5時間) 課題をしておくこと(0.5時間)	
	13	「問題を述べる」(みんなの日本語46、47課)				復習と予習(48課会話の言葉)(0.5時間) 小テストのための勉強、課題をしておくこと(0.5時間)	
	14	小テスト③「許可を求める」(みんなの日本語48課)				テストのための準備、勉強をしておくこと(1時間)	
15	テスト(聴解・口頭)						
評価方法	(1)最終授業日にテスト(聴解・口頭)を実施する。 (2)小テスト、課題や発表を評価対象とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(聴解・口頭)	○	○				50%
	小テスト	○					10%
	課題・発表	○	○		○		40%
履修上の注意	語彙の意味をを必ず調べてくること。						

科目名	聴解Ⅱ						
科目名(英)	ListeningⅡ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	N4の聴解でJLPTの問題形式に慣れてから、N3の聴解問題でN3に合格できるレベルの聴解スキルとストラテジーを学ぶ。日常的な場面で話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせて理解するよう心掛けてもらい、N3合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的话题に関する会話やモノログを聞いて、話の流れや表現が説明できる。	
	○	○				事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○	○				テキスト全体から話者の意図や主張などを聞き、適切な答えが選択できる。	
	○	○				イラストを見ながら、状況説明を聞いて、適切な発話を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・星野恵子、辻和子 著『ドリル&ドリル 日本語能力試験N4 聴解・読解』 UNICOM Inc. 2015年 ・星野恵子、辻和子 著『ドリル&ドリル 日本語能力試験N3 聴解・読解』 UNICOM Inc. 2018年 ・渡辺亜子、菊治民子 著『スピードマスターN3 読解』 Jリサーチ出版 2018年(参考) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本語能力試験 N3聴解 について N4 課題理解 第1回～2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	2	N4 ポイント理解 第1回～2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	3	N4 発話表現 第1回～第2回 N4 即時応答 第1回～第2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	4	N3 課題理解 第1回～2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	5	N3 課題理解 第3回～4回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	6	N3 課題理解 第5回 N3 ポイント理解 第1回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	7	N3 ポイント理解 第2回～第3回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	8	N3 ポイント理解 第4回 概要理解 第1回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	9	確認テスト①聴解 フィードバック			間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)		
	10	N3 ポイント理解 第5回 N3 概要理解 第2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	11	N3 概要理解 第3回～第4回 発話表現 第1回～第3回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	12	N3 概要理解 第5回～第7回 即時応答 第1回～第2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
	13	確認テスト②聴解 フィードバック			間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)		
	14	N3 概要理解 第8回～第10回 即時応答 第3回～第5回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)		
15	N3 概要理解 第8回～第10回 即時応答 第3回～第5回			スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	新しい言葉の復習をしていくこと。						

科目名	会話Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Conversation Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三澤 宇希子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	自分もつ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につけ、また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話を述べるができる	
		○				対人関係や物事の処理をスムーズに運ぶために役立つ日本事情を理解した上での適用ができる	
	○			○		面接試験やビジネスに対応できる敬語でコミュニケーションをとることができる	
テキスト・教材 参考図書	加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J: 日本語で話す6週間』凡人社、2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Unit 12 意見を言う				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	2	Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	3	Unit 14 失敗談を話す				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	4	Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	5	Unit 16 うれしかった思い出を話す				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	6	Unit 17 赤いセーターを着ている人は誰ですか				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	7	Unit 18 謝る				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	8	Unit 19 相手に忠告する				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	9	Unit 20 電話をする				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	10	Unit 21 状況を聞く・答える				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	11	Unit 22 日本を来てから変わったことについて話す				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	12	Unit 23 好きな場所を紹介する				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	13	Unit 24 経験に基づいてアドバイスする				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	14	Unit 25 相手に苦情・文句を言う				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
	15	Unit 30 問い合わせる				授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)	
評価方法	(1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)定期試験(口頭) 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	会話作成・発表	○	○		○		50%
	定期テスト(口頭)	○	○		○		50%
履修上の注意	授業終了後に、次のUnitの課題を配布するので、課題をしっかりと完成し、積極的に発話してください。						

科目名	読解Ⅱ						
科目名(英)	Reading Comprehension Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	金子 陽平		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	まずN4読解でJLPTの問題形式に慣れてもらい、N3の問題を出題分野別に学んでいく。N3読解では、幅広い話題について書かれた論旨の明快な文章を読んで、その内容や表現意図を理解する読解力が求められるため、初見の文章の構造を掴んで内容把握ができるよう指導していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に必要な語彙、文型、表現がある程度理解し、適当な答えが選択できる。	
	○	○				メールやお知らせなどを読んで情報を探し出し、必要な情報を読み取ることができる。	
	○	○				日常的な話題について書かれた文章を読んで内容を理解し、答えを選んだ理由が説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・星野恵子、辻和子 著『ドリル&ドリル 日本語能力試験N4 聴解・読解』 UNICOM Inc. 2015年 ・星野恵子、辻和子 著『ドリル&ドリル 日本語能力試験N3 聴解・読解』 UNICOM Inc. 2014年 ・渡辺亜子、菊治民子 著『スピードマスターN3 読解』 Jリサーチ出版 2018年(参考) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本語能力試験 N3読解授業について N4 内容理解(短文) 第1回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	2	N4 内容理解(短文) 第2回 内容理解(中文) 第1回～第2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	3	N4 内容理解(中文) 第3回 情報検索 第1回～第3回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	4	文末表現と接続表現 N3 内容理解(短文) 第1回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	5	N3 内容理解(短文) 第2回 内容理解(中文) 第1回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	6	N3 内容理解(中文) 第2回 情報検索 第1回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	7	N3 内容理解(長文) 第1回 情報検索 第2回			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	8	N3 内容理解(長文) 第2回 情報検索 (スピードマスターN3)			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	9	確認テスト①読解 フィードバック			間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)		
	10	N3 内容理解(メール、案内文)			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	11	N3 内容理解(中文、長文)			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	12	確認テスト②読解 フィードバック			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
	13	N3 情報検索			間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)		
	14	復習			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)		
15	復習			新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	新しい言葉、文法の復習をすること。						

科目名	文字語彙Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Characters and Vocabulary Ⅱ						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	金子 陽平		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	150時間以上の初級日本語の学習を終えた学生を対象とする。「総合日本語」の授業と連携し、N4～N3レベルの文字語彙を覚え、運用練習を実施する。「聞く・読む・書く・話す」の4つの言語運用能力を支える語彙力を伸ばし、日常生活で問題なくコミュニケーションがとれるようになることを目指す。並行してN3の漢字の読みも学習し、語彙と関連付けて意味、読み方を覚えてもらう。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○ △				日常生活でよく使われる語彙の意味や使い方を覚え、運用できる。		
	○				学んだ語彙を正確に発音できる。		
	○ ○				文脈を読み取り、文に当てはまる語彙が選択できる。		
	○ ○				N4～N3レベルの漢字を読むことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・佐々木仁子、松本紀子 著『「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN3 語彙』アスク出版 2010年 ・佐々木仁子、松本紀子 著『「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN3 漢字』アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	語彙 第1週 家事をしましょう 1日目～2日目、漢字 第1週 でかける① 1日目～2日目			復習しておくこと。 次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	2	語彙 第1週 家事をしましょう 3日目～4日目、漢字 第1週 でかける① 3日目～4日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	3	語彙 第1週 家事をしましょう 5日目～6日目、漢字 第1週 でかける① 5日目～6日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間) 7日目の問題も解いておくこと。		
	4	語彙 第2週 外出しましょう 1日目～2日目、漢字 第2週 でかける② 1日目～2日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	5	語彙 第2週 外出しましょう 3日目～4日目、漢字 第2週 でかける② 3日目～4日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	6	語彙 第2週 外出しましょう 5日目～6日目、漢字 第2週 でかける② 5日目～6日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間) 7日目の問題も解いておくこと。		
	7	語彙 第1週～第2週の7日目実践問題 確認テスト			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	8	語彙 第3週 休日を楽しみましょう 1日目～2日目、漢字 第3週 つかう 1日目～2日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	9	語彙 第3週 休日を楽しみましょう 3日目～4日目、漢字 第3週 つかう 3日目～4日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	10	語彙 第3週 休日を楽しみましょう 5日目～6日目、漢字 第3週 つかう 5日目～6日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間) 7日目の問題も解いておくこと。		
	11	語彙 第4週 勉強や仕事をしましょう 1日目～2日目、漢字 第4週 かう 1日目～2日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	12	語彙 第4週 勉強や仕事をしましょう 3日目～4日目、漢字 第4週 かう 3日目～4日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	13	語彙 第4週 勉強や仕事をしましょう 5日目～6日目、漢字 漢字 第4週 かう 5日目～6日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間) 7日目の問題も解いておくこと。 第3週～第4週ミニテストの勉強		
	14	第3週～第4週の7日目実践問題 確認テスト			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	15	語彙 第5週 いろいろ表現しましょう 1日目～2日目、漢字 第5週 かく 1日目～2日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	16	語彙 第5週 いろいろ表現しましょう 3日目～4日目、漢字 第5週 かく 3日目～4日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	17	語彙 第5週 いろいろ表現しましょう 5日目～6日目、漢字 第5週 かく 5日目～6日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間) 7日目の問題も解いておくこと。		
	18	語彙 第6週 まとめて覚えましょう 1日目～2日目、漢字 第6週 よむ 1日目～2日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	19	語彙 第6週 まとめて覚えましょう 3日目～4日目、漢字 第6週 よむ 3日目～4日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間)		
	20	語彙 第6週 まとめて覚えましょう 5日目～6日目、漢字 第6週 よむ 5日目～6日目			次回学習する語彙の意味を覚えておくこと(1時間) 7日目の問題も解いておくこと。 第5週～第6週ミニテストの勉強		
	21	第5週～第6週の7日目実践問題 確認テスト			授業の復習、JLPTの勉強をしておくこと(2時間)		
	22	「パワードリルN3文字語彙」第1回、2回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	23	「パワードリルN3文字語彙」第3回、4回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	24	「パワードリルN3文字語彙」第5回、6回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	25	「パワードリルN3文字語彙」第7回、8回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	26	「パワードリルN3文字語彙」第9回、10回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	27	「パワードリルN3文字語彙」第11回、12回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	28	「パワードリルN3文字語彙」第13回、14回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	29	「パワードリルN3文字語彙」第15回、16回			間違った問題の確認、復習をしておくこと(1時間)		
	30	総復習			復習をしておくこと(2時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
小テスト				○		50%	
履修上の注意	語彙の予習、復習を必ずすること。						

科目名	文法Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Grammar Ⅱ						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	金子 陽平		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	初級文法の復習をしつつ、日本語能力試験N3レベルの文法項目を、形や接続が似ている文型といっしょに学び、N3合格を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標		
	○	○			大学進学や就職の際、特に読み書きで求められる文法表現を運用できる。		
	○	○			習得した文法を使い、コミュニケーションを取ることができる。		
	○	○			文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。		
テキスト・教材 参考図書	・友松悦子、和栗雅子 著『短期集中 初級日本語文法総まとめポイント20』スリーエーネットワーク 2004年 ・佐々木仁子、松本紀子 著『日本語能力試験対策』日本語総まとめN3 文法』アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1課 助詞 場所を表す助詞・時間関係を表す助詞・その他				小テストのための復習(1時間)	
	2	3課 活用1 形の変化・ナ形容詞とイ形容詞の形の変化・つなぐ形				小テストのための復習(1時間)	
	3	4課 活用2 動詞の3分類・「て形」の作り方・「て形」を使う文型 「た形」を使う文型				小テストのための復習(1時間)	
	4	5課 動詞の活用と文型「ます形」につながる文型と「辞書形」につながる文型 「辞書形」または「ない形」につながる文型				小テストのための復習(1時間)	
	5	6課 ふつう形 ていねい形と普通形・ふつう形を使う文型(引用・伝聞・名詞修飾・その他)				第1週 1日目～3日目の予習(1時間)	
	6	日本語総まとめN3文法 第1週 1日目～3日目				第1週 4日目～6日目の予習(1時間)	
	7	日本語総まとめN3文法 第1週 4日目～6日目				第2週 1日目～3日目の予習(1時間)	
	8	日本語総まとめN3文法 第2週 1日目～3日目				第2週 4日目～6日目の予習(1時間)	
	9	日本語総まとめN3文法 第2週 4日目～6日目				第1週 7日目 第2週 7日目の予習(1時間)	
	10	日本語総まとめN3文法 第1週 7日目 第2週 7日目				小テストのための復習(1時間)	
	11	12課 他動詞と自動詞の対 他動詞文と自動詞文 「する」と「なる」「～である」と「～ている」				小テストのための復習(1時間)	
	12	AFTC日本人との交流				小テストのための復習(1時間)	
	13	14課 事実か、気持ちが入っているか 事実を述べた文か、話す人の気持ちが入っている文か 相手に働きかけのある文 文法的なルール				第3週 1日目～3日目の予習(1時間)	
	14	日本語総まとめN3文法 第3週 1日目～3日目				第3週 4日目～6日目の予習(1時間)	
	15	日本語総まとめN3文法 第3週 4日目～6日目				模擬試験に向けても勉強(2時間)	
	16	JLPTT模擬試験				第4週 1日目～3日目の予習(1時間)	
	17	日本語総まとめN3文法 第4週 1日目～3日目				第4週 4日目～6日目の予習(1時間)	
	18	日本語総まとめN3文法 第4週 4日目～6日目				第4週 7日目 第4週 7日目の予習(1時間)	
	19	日本語総まとめN3文法 第3週 7日目 第4週 7日目				小テストのための復習(1時間)	
	20	15課 条件など 条件形:～と・～ば・～たら・～なら				小テストのための復習(1時間)	
	21	16課 授受 だれがだれに? 授受動詞:もの授受・行為の授受				小テストのための復習(1時間)	
	22	17課 使役 使役文				小テストのための復習(1時間)	
	23	18課 受身・使役受身 受身の形・受身文の作り方・「受身文」と「～てもらう」文 使役受身・使役受身の文				小テストのための復習(1時間)	
	24	19課 敬語 尊敬 謙讓 聞き手に対して、ていねいな気持ちを表す特別なことば 使い方のルール				小テストのための復習(1時間)	
	25	2課 「は」と「が」:大切な情報・はっきり示したい場合・描写と構文上の決まり				第5週 1日目～3日目の予習(1時間)	
	26	日本語総まとめN3文法 第5週 1日目～3日目				第5週 4日目～6日目の予習(1時間)	
	27	日本語総まとめN3文法 第5週 4日目～6日目				第6週 1日目～3日目の予習(1時間)	
	28	日本語総まとめN3文法 第6週 1日目～3日目				第6週 4日目～6日目の予習(1時間)	
	29	日本語総まとめN3文法 第6週 4日目～6日目				第5週 7日目 第6週 7日目の予習(1時間)	
30	日本語総まとめN3文法 第5週 7日目 第6週 7日目				期末試験の勉強(2時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること						

科目名	プレゼンテーション						
科目名(英)	Presentation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井脇 千枝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	まず、テキストのテーマごとに適した文章の展開を学び、自分の言いたいことを自分のことばで文章にする力をつける。その際、これまでに学んだことばや文法を、いつ、どのように使うべきかを確認していく。そして、読み手、聞き手の存在を意識した、伝わる書き方／話し方を身につけるのが、この科目の目標である。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					さまざまなテーマについて、適当な語彙や文法を用いて文章にすることができる。	
	○					独話に適した構成で、伝達内容をまとめることができる。	
	△	○				原稿用紙を正しく使うことができる。	
	△			○		聞き手に伝わる話し方ができる。	
△			○			読み手、聞き手として、他者の伝達内容を理解し、自分の意見を述べるすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・門脇薫、西馬薫 著『みんなの日本語初級 第2版 やさしい作文』スリーエーネットワーク 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	原稿用紙の使い方・わたしの趣味／楽しい1日(作文)			次の作文のテーマについて準備しておくこと(0.5時間)		
	2	もしわたしが二人いたら(作文)			テキストの作文を復習しておくこと(0.5時間) サンプル作文の読み練習をしておくこと(0.5時間)		
	3	もしわたしが二人いたら(発表)			自分の作文を見直しておくこと(0.5時間) 次の作文のテーマについて準備しておくこと(0.5時間)		
	4	日本語能力試験模擬試験					
	5	楽しい1日(作文)			テキストの作文を復習しておくこと(0.5時間) サンプル作文の読み練習をしておくこと(0.5時間)		
	6	楽しい1日(発表)			自分の作文を見直しておくこと(0.5時間) 次の作文のテーマについて準備しておくこと(0.5時間)		
	7	日本でびっくりしたこと(作文)			テキストの作文を復習しておくこと(0.5時間) サンプル作文の読み練習をしておくこと(0.5時間)		
	8	日本でびっくりしたこと(発表)			自分の作文を見直しておくこと(0.5時間) 次の作文のテーマについて準備しておくこと(0.5時間)		
	9	私の夢(作文)			テキストの作文を復習しておくこと(0.5時間) サンプル作文の読み練習をしておくこと(0.5時間)		
	10	私の夢(発表)			自分の作文を見直しておくこと(0.5時間) 次の作文のテーマについて準備しておくこと(0.5時間)		
	11	ごみ:国との比較(1)(作文)			テキストの作文を復習しておくこと(0.5時間) サンプル作文の読み練習をしておくこと(0.5時間)		
	12	ごみ:国との比較(1)(発表)			自分の作文を見直しておくこと(0.5時間) 次の作文のテーマについて準備しておくこと(0.5時間)		
	13	スマートフォン 必要? 不必要?(作文)			テキストの作文を復習しておくこと(0.5時間) サンプル作文の読み練習をしておくこと(0.5時間)		
	14	スマートフォン 必要? 不必要?(発表)			これまでに書いた作文の読み直しをしておくこと(1時間)		
15	作文テスト						
評価方法	(1)授業の中で作文テストを実施する。(2)作文の発表を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文テスト	◎	○				50%
	発表	◎	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	日本語試験対策A						
科目名(英)	Strategy for paasing JLPT A						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	金子 陽平		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	N3レベルの読み物を読みながら文法の意味、使い方を学ぶと同時に、文の構造を確認し、N3の問題が解けるように指導する。N3に合格できるスキルとストラテジーを学び、N3合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活でよく目にする漢字で書かれた語を読むことができる。	
	○	○				出題語が文の中でどのように使われるのかを判断することができる。	
	○	○				文の内容に合った文法形式かどうか見極め、適当な答えが選択できる。	
	○	○				文章の流れに合った文かどうかを判断することができる。	
			○			試験に関して自己管理(時間配分・スケジュールリング)ができる。	
テキスト・教材 参考図書	水谷信子 著『日本語N3 文法・読解 まるごとマスター』 Jリサーチ出版 2018						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 1~5			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	2	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 6~10			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	3	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 11~15			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	4	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 16~20			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	5	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 21~25			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	6	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 26~30			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	7	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 31~35			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	8	PART1 実践! 読解トレーニング 文章編 Lesson 36~40			学んだ語彙、文法の復習をしておくこと(1時間)		
	9	PART2 実践! 読解トレーニング 情報編 Lesson 41~45			確認テストの予習をしてくること(2時間)		
	10	総復習			授業の復習をしておくこと(1時間)		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト		○		○		50%
履修上の注意	宿題を必ずすること。						

科目名	聴解Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Listening Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	橋本 秀子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。また、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					キーワードを聞いて、内容を推測し、説明することができる	
		○				設問を聞いて、必要な情報を意識して選択することができる	
	○	○		○		聞き取った内容の構成を理解し、大意を口頭・文章で表現し、コミュニケーションをとることができる	
テキスト・教材 参考図書	星野 恵子、辻 和子『ドリル&ドリル 日本語能力試験 N2 聴解・読解』ユニコム、2010年 日本語教育研究所 編著者『聴解が弱いあなたへ』株式会社 凡人社、2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 ドリル&ドリル 課題理解 第1回 ・ 即時応答 第1回				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	2	ドリル&ドリル ポイント理解 第1回 概要理解 第1回 ①② 聴解が弱いあなたへ 1お祝い				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	3	ドリル&ドリル 課題理解 第2回 即時応答 第2回 聴解が弱いあなたへ 2ゴミ出し				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	4	ドリル&ドリル ポイント理解 第2回 概要理解 第1回 ③④ 聴解が弱いあなたへ ③忘れ物を探す				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	5	ドリル&ドリル 課題理解 第3回 即時応答 第3回 聴解が弱いあなたへ 5初めての一人暮らし				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	6	ドリル&ドリル ポイント理解 第3回 統合理解 第1回 即時応答 第4回				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	7	ドリル&ドリル 課題理解 第4回 概要理解 第2回①② 即時応答 第5回				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	8	ドリル&ドリル ポイント理解 第4回 統合理解 第2回 即時応答 復習				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	9	N2問題演習				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	10	N2問題演習				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	11	N2弱点補強				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	12	聴解が弱いあなたへ 13 体の状態				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	13	聴解が弱いあなたへ 14 葉				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
	14	聴解が弱いあなたへ 23 ヘアスタイル				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)	
15	前期のまとめ 期末試験対策				聞き取れなかった語彙・表現の復習(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	授業時の配布プリントを必ず復習すること						

科目名	読解Ⅱ						
科目名(英)	Japanese Reading Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井脇 千枝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日本語能力試験(N2レベル)受験に向けた試験対策授業(読解) ・印刷物に用いられる語彙、文型、構文を知る ・日本語の文章の展開に慣れる ・ある程度の速さで文章を読む、または文書に目を通す力をつける						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					印刷物(広告、文書など)から必要な情報を読み取ることができる	
	○	○				物語文を読み、話の流れが分かる(主題・主語の転換・省略・情報の付加)	
	○	○		○		説明文を読み、論旨や筆者の主張が予測できる(事実、一般論、意見)	
テキスト・教材 参考図書	田代ひとみ, 中村則子, 初鹿野阿れ, 清水知子, 福岡理恵子 著 『新完全マスター読解 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク, 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	広告・説明書き・表・リストp86-123				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	2	お知らせ・情報検索p76-85, 161-180				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	3	主張表現・疑問提示文(1)P26-37の一部				授業で扱った文章をもとに、読み方、問題の解き方について復習しておくこと(1時間)	
	4	模擬試験フィードバック				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	5	対比(1)p4-13の一部				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	6	言い換え・比喩(1)p14-25の一部				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	7	指示語・例p38-45, 68-75				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	8	主張表現・疑問提示文(2)p26-37の一部				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	9	統合理解p147-160				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	10	内容理解(1)p46-57				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	11	対比(2)p4-13の一部				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	12	言い換え・比喩(2)p14-25の一部				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	13	内容理解(2)p58-67				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	14	中文読解p124-131				次回の授業で扱う問題をやっておくこと(1時間)	
	15	長文読解p132-146				復習すること(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	文字語彙Ⅱ						
科目名(英)	Japanese characters and vocabularyⅡ						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	河原田 純子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日本語能力試験N2レベルの語彙をトピック・使い方などのグループごとに学び、約1400語を、その言葉だけでなく、短い文や語句を効率よく覚える。言語知識だけでなく、読解や聴解問題、日常生活でも役立つ語彙をスムーズに選べ、日本人とのコミュニケーションもスムーズにとることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				前後の文脈から空所に入る語を選択することができる	
		○				出題された語と意味的に近い語を分類することができる	
	○					複数の文の中から語が正しく使われている文を選び、説明することができる	
	○	○		○		派生語や複合語を作ることができ、語彙を塊で文にし、コミュニケーションをとることができる	
テキスト・教材 参考図書	伊能 裕晃(著), 来栖 里美(著), 前坊 香菜子(著), 宮田 公治(著), 阿保 きみ枝(著), 本田 ゆかり(著) 『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』株式会社スリーエーネットワーク、2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	<実力養成編第1部> 1章 人間 1・2・3課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	3・4	2章 生活 1・2・3課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	5・6	3章 趣味・娯楽 / 4章 旅行 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	7・8	5章 教育と仕事 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	9・10	6章 メディア 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	11・12	7章 社会 1・2・3・4課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	13・14	8章 科学 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	15・16	9章 抽象概念 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	17・16	<実力養成編第2部> 1章 意味がたくさんある言葉 1・2・3課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	19・20	2章 意味が似ている言葉 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	21・22	3章 形がにている言葉				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	23・24	4章 副詞 1・2・3課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	25・26	5章 オノマトペ / 6章 慣用表現 1・2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	27・28	7章 語形成 1・2・3・4回				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	29・30	確認テスト(模擬試験) 第1回・第2回				授業内容に係る模擬試験を実施するので、復習しておくこと(2時間)	
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を毎回提出、レポートも数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験(筆記)		○	○				50%
宿題・レポート		○	○		○		50%
履修上の注意	授業前に、新出語彙の宿題を必ずしてくること。						

科目名	文法Ⅱ							
科目名(英)	Japanese Grammar Ⅱ							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	濱田 奈美子			
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年							
授業概要	文の内容に合った文法形式かどうかを判断し、統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立て、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、コミュニケーションが円滑にとれるようになることを目指す。							
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:			
					実技:			
					※ 主たる方法:○	その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
		○				文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる		
	○					統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる		
	○	○		○		文章の流れに合った文かどうかを判断し、コミュニケーションが円滑にとることができる		
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N2 文法 (「日本語能力試験」対策)』アスク出版、2010年 松浦 真理子 監修 アスク出版編集部 著『日本語パワードリルN2文法』アスク出版、2011年							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1・2	1: 総まとめN2文法 第1週 1日目～3日目 2: 総まとめN2文法 第1週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第1週の既習文法の復習のこと		
	3・4	3: 総まとめN2文法 第2週 1日目～3日目 4: 総まとめN2文法 第2週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第2週の既習文法の復習のこと		
	5・6	5: 総まとめN2文法 第3週 1日目～3日目 6: 総まとめN2文法 第3週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第3週の既習文法の復習のこと		
	7・8	7: 総まとめN2文法 第4週 1日目～3日目 8: 総まとめN2文法 第4週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第4週の既習文法の復習のこと		
	9・10	9: 総まとめN2文法 第5週 1日目～3日目 10: 総まとめN2文法 第5週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第5週の既習文法の復習のこと		
	11・12	11: 総まとめN2文法 第6週 1日目～3日目 12: 総まとめN2文法 第6週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第6週の既習文法の復習のこと		
	13・14	13: 総まとめN2文法 第7週 1日目～3日目 14: 総まとめN2文法 第7週 4日目～6日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第7週の既習文法の復習のこと		
	15・16	15: 総まとめN2文法 第1・2週7日目 16: 模擬試験				第1～2週の7日目を解いてくること(1時間)		
	17・18	17: 総まとめN2文法 第3・4週7日目 18: 総まとめN2文法 第5・6週7日目				第3～6週の7日目を解いてくること(1時間)		
	19・20	19: 総まとめN2文法 第7週7日目/パワードリル文末表現 20: パワードリル似ている文型・敬語				第7週の7日目を解いてくること(1時間)		
	21・22	21: 総まとめN2文法 第8週 1日目～2日目 22: 総まとめN2文法 第8週 3日目～4日目				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第8週の既習文法の復習のこと		
	23・24	23: 総まとめN2文法 第8週 5日目～7日目 24: 総まとめN2文法 第1週 復習				確認テストを実施するので復習しておくこと(1時間)		
	25・26	25: 総まとめN2文法 第2週 復習 26: 総まとめN2文法 第3週 復習				確認テストを実施するので復習しておくこと(1時間)		
	27・28	27: 総まとめN2文法 第4週 復習 28: 総まとめN2文法 第5週 復習				確認テストを実施するので復習しておくこと(1時間)		
	29・30	29: 総まとめN2文法 第6週 復習 30: 総まとめN2文法 第7週 復習				確認テストを実施するので復習しておくこと(1時間)		
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験(筆記)	○	○				50%
		小テスト	○	○		○		50%
	履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること						

科目名	プレゼンテーション						
科目名(英)	Japanese Presentation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河原田 純子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	既習語彙や表現を有機的に繋げ、発想力や読解力で培った力をもとに、自分の意見や主張を相手にわかりやすく、説得力を持って伝わるようなスキルを身につけ、コミュニケーションを皆とれることを目指します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					テーマに沿って思いつくことを挙げるができる	
	○					テーマとなる単語を中心に自由に関連語句を挙げるができる	
		○				情報の理解と推論・理由付けをスムーズに適用ができる	
				○		自分の意見や主張を理由付けしながらコミュニケーションをとることができる	
テキスト・教材 参考図書	黒崎典子他『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』凡人社 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介「私」について				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	2	インタビュー 日本人の学生に聞いてみたいこと				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	3	スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと①				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	4	スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと②				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	5	ディスカッション (1)携帯 必要？不要？				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	6	スピーチ(1)発表				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	7	スピーチ(2) 紹介したい国や町①				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	8	スピーチ(2) 紹介したい国や町②				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	9	ディスカッション (2)美容整形 賛成！ 反対？				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	10	スピーチ(2)発表				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	11	ディスカッション (3)日本人はどうして・・・？				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	12	プレゼンテーマ決め				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	13	プレゼン内容				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
	14	最終発表 ①				スピーチを・考える／覚える(1時間)	
15	最終発表 ②				スピーチを・考える／覚える(1時間)		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)授業時の発表(授業への参加状況・グループワーク時の発言)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○	○				50%
	発表	○	○		○		50%
履修上の注意	レポートや宿題は授業前日までに提出して下さい。						

科目名	日本語試験対策A						
科目名(英)	Strategy for paasing JLPT A						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	河原田 純子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	能力試験の問題(文字・語彙・文法)を数多く解き、問題の形式に慣れ、N2に合格できるスキルとストラテジーを学び、N2合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					幅広い場面で使われる漢字の読みができる	
		○				出題語が文の中でどのように使われるのかを判断することができる	
	○	○				文章の流れに合った文かどうかを判断することができる	
				○		試験に関して自己管理(時間配分・スケジュールリング)ができる	
テキスト・教材 参考図書	日本語能力試験問題研究会 著『日本語能力試験 直前対策N2文字・語彙・文法』国書刊行会 2018						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1回 教科書説明／解き方／宿題の取り組み方				第2回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	2	第1・2回 説明FB				第3・4回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	3	第3・4回 説明FB				第5・6回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	4	第5・6回 説明FB				第7・8回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	5	第7・8回 説明FB				第9・10回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	6	第9・10回 説明FB				第11・12回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	7	第11・12回 説明FB				第13・14回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	8	第13・14回 説明FB				第15回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてこ	
	9	第15回 説明FB・要点整理				第1-15回までの間違えた問題を復習すること(2時間)	
	10	総復習(確認テスト)				確認テストの予習をしてこ	
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	宿題を必ずしてこ						

科目名	総合日本語Ⅱ						
科目名(英)	General Japanese Ⅱ						
単位数	12単位	時間数	180時間	担当者	河原田 純子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	自分が持つ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語による対話力を身につけ、コミュニケーションをとることができるようになる。 また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		日本語による対話力を身につけ、コミュニケーションをとることができる	
	○					段落を構成して述べるができる	
	○	○				日本語能力試験N3～N2レベルの言語知識を理解し、運用することができる	
テキスト・教材 参考図書	・鶴尾能子、石沢弘子 監修『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク、2013年 ・嶋田和子『できる日本語 初中級 本冊』アルク、2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～6	みんなの日本語46課、47課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと (1時間)	
	7～12	みんなの日本語48課、49課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと (1時間)	
	13～18	みんなの日本語50課、総復習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと (1時間)	
	19～24	1課 自己紹介:初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせしたりすることができる。				私の文法ノート(1課:p2-9)をやること(1時間)	
	25～30	2課 ショッピング:お店やレストランで友達と商品やメニューについて話したり、お店の人と話しながら買い物したりすることができる。				私の文法ノート(2課:p10-18)をやること(1時間)	
	31～36	3課 私の目標:自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から話を聞いたりすることができる。				私の文法ノート(3課:p20-28)をやること(1時間) 1課～3課のテストをするので復習しておくこと	
	37～42	4課 住んでいる町で:日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教え合っ、その情報をもとに行動することができる。				私の文法ノート(4課:30-36)をやること(1時間)	
	43～48	5課 大変な1日:突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して、対処することができる。				私の文法ノート(5課:p38-46)をやること(1時間)	
	49～54	6課 旅行に行こう:旅行に行くために事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる。				私の文法ノート(6課:p48-54)をやること(1時間) 4課～6課のテストをするので復習しておくこと	
	55～60	7課 西川さんの家へ:日本人の家へ行つたとき、場面と関係性を考えながら、その家の人との交流を楽しむことができる。				私の文法ノート(7課:p56-64)をやること(1時間)	
	61～66	8課 ありがとう:これまでの経験の中でしてもらってうれしかったことについて感謝の気持ちを表現することができる。				私の文法ノート(8課:p66-74)をやること(1時間)	
	67～71	9課 アルバイト先で:集団の中で気持ちよく仕事ができるように、周りの人のことを考えながら、会話することができる。				私の文法ノート(9課:p76-84)をやること(1時間) 7課～9課のテストをするので復習しておくこと	
	72～77	10課 旅行に行つて:旅行中に起こった困った状況を他の人に伝えたり、目にした風景や建物について簡単に説明したりすることができる。				私の文法ノート(10課:p86-94)をやること(1時間)	
	78～82	11課 地域社会の中で:地域の日本人に、最近の生活や今困っていることについて話したり、地域の活動に参加したりできる。				私の文法ノート(11課:p96-104)をやること(1時間)	
	83～90	12課 私の健康法:健康を維持するための方法や体調がよくないときの対処法について、周囲の人と情報を交換することができる。				私の文法ノート(12課:p106-116)をやること(1時間) 10課～12課のテストをするので復習しておくこと	
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを4回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○	○				50%
小テスト		○	○		○		50%
履修上の注意	授業前に、新出語彙を必ず調べてくること						